

パフォーマンスハイライト 2021年3月期

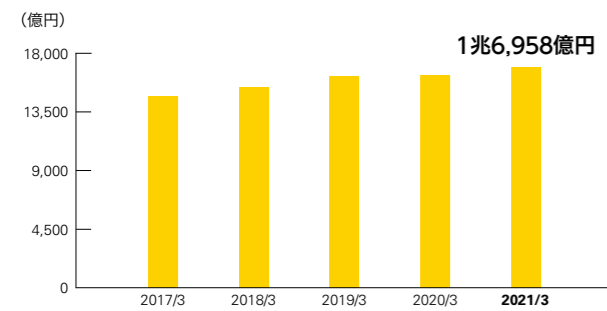
財務情報

営業収益は、成長が加速するEC領域に対応した結果、荷物の取扱数量が増加したことなどにより、前期比4.0%増の1兆6,958億67百万円となりました。営業利益は、荷物の取扱数量が増加する中、データ分析に基づく経営資源の最適配置による集配効率の向上や幹線輸送、仕分け作業の効率化を推進したことなどにより、前期比106.1%増の921億21百万円となりました。この結果、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比154.0%増の567億円、ROEは前期比6.0ポイント上昇し、10.0%となりました。

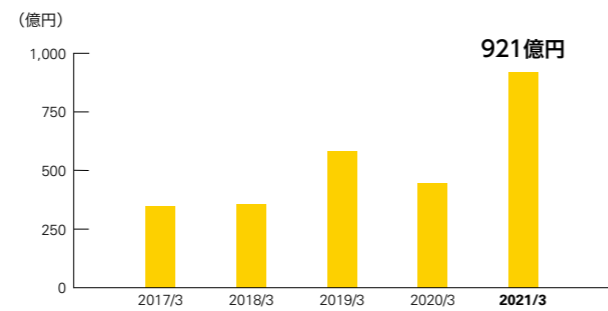
非財務情報

ヤマトグループは、持続的な成長と持続可能な社会の発展を両立するため、サステナブル経営の強化に取り組んでいます。環境と社会を組み込んだ経営を実践すべく、「つなぐ、未来を届ける、グリーン物流」「共創による、フェアで、「誰一人取り残さない」社会の実現への貢献」という2つのビジョンのもと、人や資源、情報を高度につなぎ、輸送をより効率化させることで、環境や生活、経済により良い物流の実現を目指し、特定した重要課題に対する取組みを推進しました。

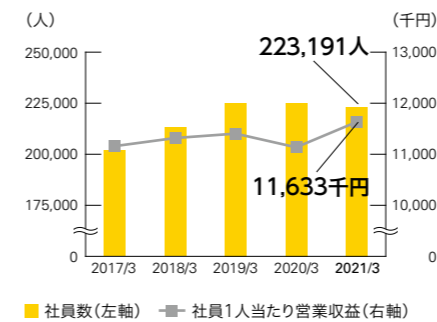
営業収益



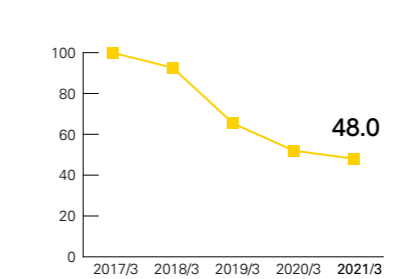
営業利益



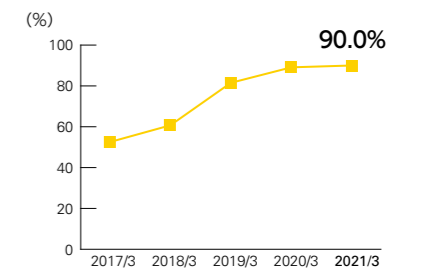
社員数^{*2}/社員1人当たり営業収益^{*3}



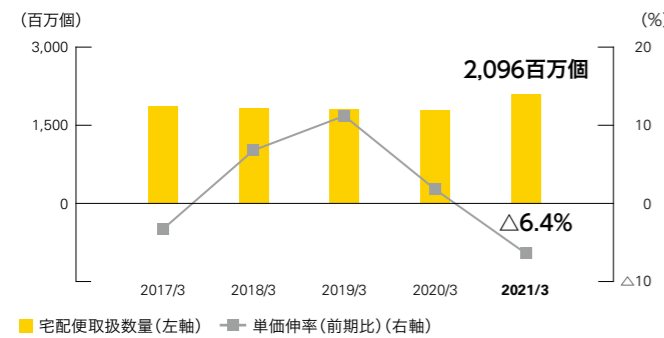
社員1人当たり残業時間^{*4}の改善状況



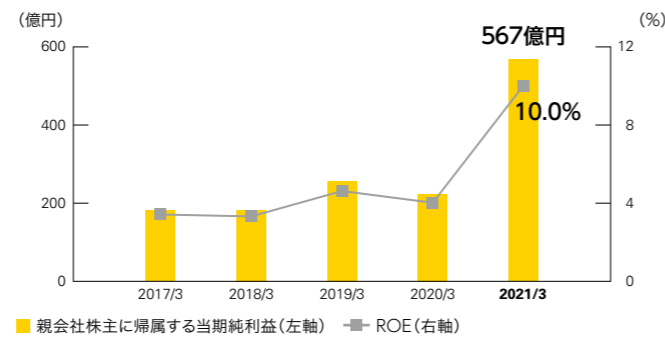
1人当たり年次有給休暇取得率^{*5}



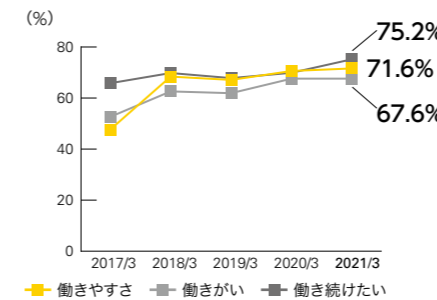
宅配便取扱数量/単価伸率(前期比)



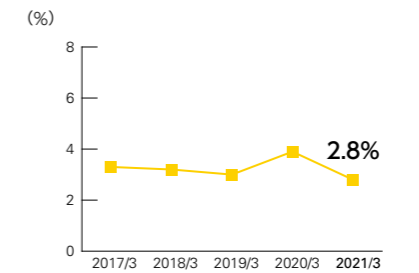
親会社株主に帰属する当期純利益/ROE



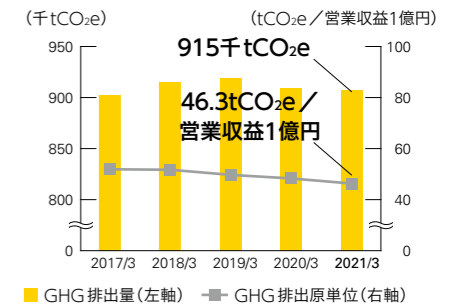
働き方意識調査^{*6}



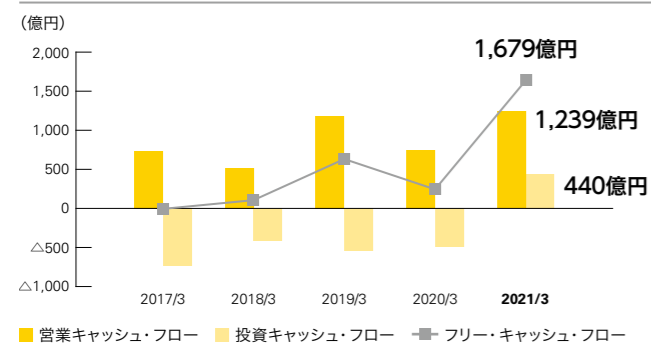
退職者の比率^{*7}



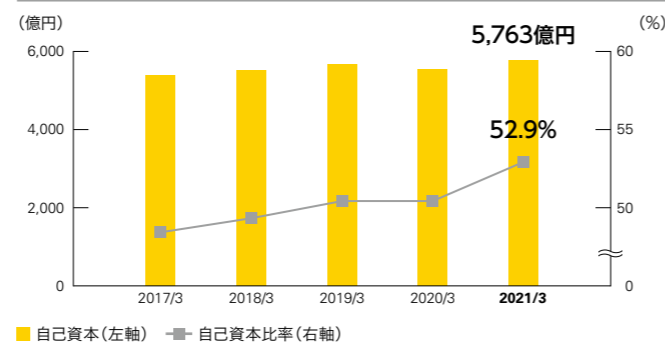
温室効果ガス(GHG)排出量/GHG排出原単位



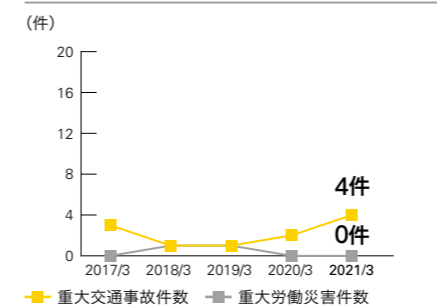
営業キャッシュ・フロー/投資キャッシュ・フロー/フリー・キャッシュ・フロー^{*1}



自己資本/自己資本比率



重大交通事故^{*8}件数/重大労働災害^{*9}件数



*1 フリー・キャッシュ・フロー＝営業キャッシュ・フロー＋投資キャッシュ・フロー

*2 期末社員数

*3 期中平均社員数、換算後のパートタイマー人員数を用いて算出

*4 2017年3月期の実績を100とした場合の数値(対象：国内グループ会社のフルタイム社員)

*5 $\frac{\text{各年度における1人当たり年次有給休暇取得日数}}{\text{各年度における1人当たり年次有給休暇与日数}} \times 100$
(対象：国内グループ会社のフルタイム社員)

*6 経営の中心に据えて取り組んでいる「働き方改革」の実効性を高めるため、年次で実施している働き方に関する意識調査
(対象：国内グループ会社のフルタイム社員・パートタイマー社員)

*7 $\frac{\text{各年度における退職者数(自己都合)}}{\text{各年度末時点の在籍社員数} + \text{各年度における退職者数(定年数も含む)}} \times 100$
(対象：国内グループ会社のフルタイム社員)

*8 死亡交通事故(有責)

*9 死亡労働災害